

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 23 年 5 月 6 日 (2011.5.6)

【公開番号】特開 2008-260009 (P2008-260009A)
 【公開日】平成 20 年 10 月 30 日 (2008.10.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-043
 【出願番号】特願 2008-67219 (P2008-67219)
 【国際特許分類】

B 0 1 D 69/00 (2006.01)

B 0 1 D 71/56 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 69/00

B 0 1 D 71/56

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 3 月 16 日 (2011.3.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複合半透膜の製造方法であって、第一級アミノ基を含む分離機能層を有する半透膜を形成する工程と、前記分離機能層を有する半透膜を、第一級アミノ基と反応してジアゾニウム塩またはその誘導体を生成する化合物 (I) に接触させてジアゾニウム塩を形成させる工程と、スルファミン酸、アンモニア、その酸性塩、及びアミノ酸からなる群から選ばれる少なくとも 1 種の前記化合物 (I) との反応性をもつ水溶性化合物 (II) を接触させる工程とを有することを特徴とする複合半透膜の製造方法。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、上記目的を達成するために、下記 (1) の構成をとる。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 第一級アミノ基を含む分離機能層を有する半透膜を形成する工程と、前記分離機能層を有する半透膜を、第一級アミノ基と反応してジアゾニウム塩またはその誘導体を生成する化合物 (I) に接触させてジアゾニウム塩を形成させる工程と、スルファミン酸、アンモニア、その酸性塩、及びアミノ酸からなる群から選ばれる少なくとも 1 種の前記化合物 (I) との反応性をもつ水溶性化合物 (II) と接触させる工程を有することを特徴とする複合半透膜の製造方法。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】削除
【補正の内容】